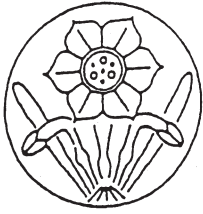


会報



2005.5.10

89号



社団法人 福井県放射線技師会

〒918-8223 福井市河水町第14号30番地 (南道内装飾ビルC棟1階西)
TEL 0776-57-0696 FAX 0776-57-0699

発行者: 真柄 義一
編集責任者: 西郡 克寛

E-mail: office@fart.dyndns.org
HP: http://fart.dyndns.org/

会 告

(社) 福井県放射線技師会

会長 真柄 義一

平成16年度(第57回) 定期総会開催

本会の定款第20条に基づき、平成16年度(第57回) 定期総会を下記のとおり開催いたします。

記

1. 日 時: 平成17年5月25日(水) 19時00分より (18:30受付開始)
2. 場 所: 福井県済生会病院 東館3F 大研修室
福井県福井市和田中町舟橋7-1 (TEL: 0776-23-1111)
3. その他: 都合により欠席される方は必ず委任状に署名捺印の上返信下さい。
準備の都合上、出席される方もはがきを返信して下さい。

第57回 定期総会次第

開会の辞

会長あいさつ

資格審査委員および総会運営委員選出

各々理事1名、構成員2名の計6名

議長選出

議長登壇

資格審査委員会報告

総会成立宣言(議長)

総会運営委員会報告

総会役員選出

書記2名、議事録署名人2名

議 事

第1号議案 平成16年度事業報告、庶務報告、決算報告、監査報告

第2号議案 法人化25周年事業報告、決算報告

第3号議案 平成17年度事業計画案、予算案

第4号議案 スローガンの承認

第5号議案 その他

閉会の辞

平成16年度 事業報告

《総括》

平成16年度をふり返ると、「申」年、猿は騒ぐと言われ災害の多い年とされている。この言い伝えのとおり、新潟をおそった豪雨による水害に始まり、7月には豪雨が本県を襲い足羽川が決壊する記録的な水害をもたらした。このような災害の傷跡が消え去る間もなく新潟県中部地区を襲った地震、更には被害状況が把握できない程の被害を残したスマトラ島沖地震と、災害のニュースが絶えない年であり、災害に遭われた皆様方に心よりお見舞い申し上げる次第である。

さて、今年度はまず公的事務所として所轄官庁への定款改訂の申請、法務局への所在地変更等の公的手続きを行い全ての事務手続きを終了し、法人化25周年を迎えるにあたり正式に社会に認められたことは大変喜ばしいことである。また本会の拠点として、会員各位の利便性や情報基地としての役割を十分に発揮できる体制づくりを行い、徐々にではあるが確実に出来上がってきている。

特に情報ネットワークの委員会においては、IT化の充実が本会の運営基盤に大きなウェイトを占めてくることを予想し、情報ネットワークの推進、ホームページの充実、IT機器の管理運営などを行い、IT技術を大いに利用して会員との連携が図られたものと思っている。また、日放技との事務連絡等においてもその威力を発揮し、早期に会員への情報開示が行えたものと自負している。

新設した生涯学習推進委員会では、厚生労働省の医療分野規制改革検討会が出した報告書の骨子「医療資格者の資質の確保について述べられており、医療資格者が一定水準以上の資質あるいは技術を有するようにするシステムを作る必要があるとし、将来的には一定の研修を義務化するとともに、更に資質の向上が必要な場合には資格更新制度の導入も考慮すべき」に基づき、日放技主催の「生涯学

習システム」を福井県独自の考え方で推進し実行してきた。昨年から実施しているアドバンスドRT取得に係る講習会は、「医療安全学」に引き続き「看護学」を行った。何度でも言うようだが、この講習会は資格認定のみを目的として企画開催したわけではない。安全で信頼のおける医療を提供するために必要であると判断したからであり、主旨を理解して受講するようお願いする次第である。

緊急時被ばく医療の面では、平成16年8月9日に美浜原発蒸気洩れ事故があった。幸いにも放射能洩れはなかったものの、初期対応施設ではかなり混乱があった模様であり、防災訓練の重要性が浮かび上がった事故といえる。今年度の原子力防災訓練は10月21日に京都市と合同で行われた。昨年に引き続きこの事前研修の講師依頼が医務薬務課よりあり、「人材育成」の指導的役割を担う機関として着実に関係諸団体に認められてきたものと受け取っている。

以上の通常事業に加え、平成17年3月14日には法人化25周年を迎え、一つの節目の年として3月21日（月・祭日）に記念事業を行った。内容的には、記念式典、公開講座、祝賀会であり、記念式典においては放射線技師としての献身的な社会活動が認められ、2名の会員が知事表彰を受賞した。大変喜ばしいことであり受賞された皆様に改めてお祝いを申し上げます。また公開講座においても、「あなたもやさしくブレストケアしませんか」をテーマに開催したところ、多くの住民の方が見えられ健康維持の一助となったものと思われ、法人格を持つ職能団体としての役割も果たせたものと思っている。ご協力を頂きました関係各位をはじめ、会員一人ひとりの力によりより成功裡の内に終了できましたこと、この場をお借りしてお礼申し上げ、平成16年度事業報告の総括とする。

委員会報告

● 広報・組織委員会 ●

①リーフレット発刊について

平成12年度からの継続事業であります、リーフレット（MR I編）を10月に発刊いたしました。日常業務にてお役にたてれば幸いです。尚、発刊部数は会員1人あたり4枚程度とさせて頂きました。

②IT講習会

第4回IT講習会を、平成16年8月27日(金)生活学習館ユーアイ福井にて開催いたしました。今回の内容はワープロソフト（ワード）中級編多数の参加有り難うございました。

③レントゲン週間の啓蒙活動

昨年度から開催されました、レントゲン週間（11月2日～8日）の啓蒙活動としてポスターを作成し、広く県内にPRいたしました。

尚、発行部数は各施設3～5程度とさせて頂きました。

④広報・組織委員会におけるホームページのUP

全国放射線技師養成学校（39校）における福井県出身者の在学生調査を行い回答があったのは32校で、その内福井県出身の17年度卒業見込みは9名でした。

● 学術研修委員会 ●

・ 勉強会の内容と開催方法についてのアンケート調査の実施（回答者数59名）

福井県技師会勉強会の開催要項についてのアンケート調査を7月に実施し、アンケートの結果を委員会にて分析し、今年度のテーマ『急性腹症に対する画像診断』とした。

・ 勉強会の開催

今年度のテーマ『急性腹症に対する画像診断』

第1回目（参加者38名）・・・台風接近のため参加人数が少なめでした。

日 時：10月20日(水) 18：45～20：30

場 所：市立敦賀病院 リハビリ棟3階 講堂

内 容：演題名【腹部救急疾患の画像診断】

講師 市立敦賀病院 消化器外科部長
太田信次 先生

会員発表

演題1【急性腹症に対する事例報告】

市立敦賀病院 山崎 巖さん

演題2【急性腹症に関する超音波検査について】

中村病院 木村裕治さん

第2回目（参加者86名）

日 時：2月16日(水) 18：45～20：30

場 所：福井県立病院 3階 講堂

内 容：教育講演1【外傷性急性腹症の画像診断】

講師 福井県立病院 救命救急センター
医長 前田重信 先生

会員発表

演題1【急性腹症(主に外傷性)に対する画像

—技師の立場から—】

福井県立病院 村田香織さん

演題2【急性腹症に関する超音波検査について】

中村病院 木村裕治さん

・ 被ばく線量測定の実施

胸部被ばく線量測定と画質評価を今年度は学術研修委員会と放射線管理委員会委員が協力し、行った。

・ 7月～8月にかけて被ばく線量測定マニュアルの作成とホームページでの公開。

・ 県内の希望された18施設について、1月～2月にかけて胸部撮影時の患者被ばく線量（表面線量）を測定と画質の評価を実施。

・ また、各施設にその結果と今後の検討事項をまとめフィードバック報告。

・ CT検査の被ばく線量測定と画質の評価マニュアルは現在作成中。

● 生涯学習推進委員会 ●

・ アドバンスド(A D)セミナー「看護学」の開催

7月11日(日)、8月1日(日)、8日(日)に開催し、一部免除者3名を含む69名が受講した。今回は看護学ということで、講師や詳しい講義内容に関しては福井市医師会看護専門学校にお願いし、同校を会場として講義や実習が行われた。

・ 承認カウムの申請

生涯学習システムの承認カウムのうち、県技師会主催分について申請されたものをとりまとめ、日本放射線技師会に申請した。

・ 生涯学習システムの推進

すいせんやホームページを通して、生涯学習システムの案内を行った。

● 福利厚生委員会 ●

・ 第18回北陸3県放射線技師野球大会結果報告

悲願の初勝利!! 6月6日(日)小松ドームで行われました野球大会で、前年度の優勝チーム、石川県と対戦した福井チームが4-1で勝利しました。緊迫したゲーム展開で、応援をしている手にもおもわず汗が感じられるゲーム内容でした。今年は、優勝旗を福井に持って帰りたいと思っているのは私だけ・・・

さて、結果は 第1試合 福井4-1 石川

第2試合 富山15-4 福井

第3試合 石川9-2 富山 でした。

・ 秋のレクリエーション(ハイキング&バーベキュー)

熊騒動の為、やむなく中止とさせて頂きました。楽しみにされていた会員の皆様には今年度の事業として継続する予定です。是非ご参加下さい。

・ 平成16年度ボーリング大会結果報告

平成17年3月3日(木)、アル・プラザボールにて開催されました。今回は、出身校別対抗ボーリング大会という事と委員の方々の努力で参加者70名というにぎやかな大会になりました。また、あらたに団体賞も設けた為か、各レーンからの熱気と歓声がボーリング場にあふれていました。さて、結果は、

個人賞 優勝 山本(福井済生会) 336

2位 大西(福井総合) 335

3位 北川(中村病院) 333

団体賞 優勝 金沢Bチーム

(山本・上野・高橋・鈴木)

2位 関越Aチーム

(木原・北川・窪田・毛利)

3位 北陸ワキタ(楠・片岡・浅野) でした。

●地域医療対策委員会●

福井市休日急患センターおよび大野市休日急患診療所における放射線業務の円滑な運営を行なう為に、以下のことを行なった。

1. 会員向け出務アンケートおよび出務会員、施設長への依頼文を発送した。(1月)
2. 出務者の割り振り作業を行なった。(2月18日)
3. 年間出務者予定の一覧表および個人別年間出務日程表を作成し、発送した。(3月)
4. オリエンテーションを開催した。(3月15、25日)
5. 出務予定者に対し、出務日の案内を葉書による直前連絡で通知した。(通年)
6. 年間業務量の調査を行なった。(3月)
7. 委員会専用インターネットホームページの委員会情報、出務情報等をupdateした。(通年)
8. 福井市と大野市へ年間業務報告を行った。

□福井市休日急患センター

- ・出務費の支払いを4半期ごとに銀行口座振込みした。(4、7、10、1月)
- ・年間撮影フィルムの画像評価を行ない、撮影条件等の検討を行なった。(2月18日)
- ・平成16年分の報奨費支給明細書(源泉徴収票)を作成し郵送した。(1月)

□大野市休日急患診療所

- ・撮影フィルムの画像評価を行ない、プログラム撮影条件の検討を行なった。(10月8日)
- ・自現機等の機器管理を行なった。(9月)
- ・平成16年分の報奨費支給明細書(参考金額)を作成し郵送した。(1月)

□その他(源泉徴収税関連)

出務会員に対して、税務署への出務手当てに関する確定申告を促し、源泉徴収税納付への対応として以下の本年度分帳簿を作成し、福井市税務署、各市町村へ源泉徴収報告を行った。

- ①出務簿 ②口座振込みの記録簿 ③所得税源泉徴収簿 ④所得税納入高計算書兼領収書 ⑤報奨費報告書 ⑥源泉徴収票・市町村提出用給与支払総括表 ⑦確定申告を勧める文書

●放射線管理委員会●

今年度は、美浜原発事故の大惨事が起こり、原子力発電所の見学は出来なかったが、今後の活動の教訓として管理士部会と連携して緊急被ばく医療の活動を強化していきたい。胸部撮影線量測定と画像評価(学術委員会と合同企画)では県内の胸部撮影の実態を把握し、施設へフィードバックし、画像の向上と被ばく低減に寄与した。情報ネットワーク委員会の協力で放射線管理委員会・管理士部会のHPの充実と放射線管理士のメーリングリストを十分に活用できた。

参加学会・研究会等

- 7月17日 第2回中日本放射線管理士代表者会議(岐阜)
- 8月7日 福井県緊急被ばく医療研修会(県立病院・WBC実習)
- 8月21日 平成16年度緊急被ばく医療全国拡大フォーラム(愛媛)
- 11月14日 第20回放射線技師総合学術大会管理士部会(長崎)
- 1月26日 緊急被ばく医療福井フォーラム(敦賀)
- 2月4日 第7回福井地区「緊急被ばく医療ネット

ワーク調査検討会」(敦賀)

2月19日 福井県緊急被ばく医療研修会(国立福井・除染実習)

・平成16年度放射線管理士部会事業報告

今年度予定していた緊急被ばく医療講習会は管理士部会と合同で4月24日に行なった。原子力防災訓練は3月21日に高浜で開催された。事前講習会は3回行われ、のべ10名の放射線管理士を派遣した。放射線管理士部会の研究会(緊急被ばく医療班・広報被ばく相談班)の活動発足ができた。

- ・事前講習会への講師派遣(2/16・2/22・3/1)
- ・10月5日 放射線管理士部会(胸部線量測定・原発事故の対応)
- ・4月24日 放射線管理士部会(緊急被ばく医療・法令改正について)

●情報ネットワーク委員会●

独自事務所取得に伴い、技師会専用サーバを導入し運用を開始した。執行部の意思疎通が円滑に進み、各事業の連絡や把握に運用の主軸をおいてきた。この一年を振り返り、いろいろなサービスの立ち上げを優先させてきたが、当初の目的である「技師会のコミュニケーションインフラ」としては、まだ会員のためのインフラとはなっていないように思われる。次年度以降、会員の皆さまへのサービスといった観点からより使いやすい内容や運用をこころがけていきたい。

●技師会専用サーバの管理運営

技師会専用サーバを設置して、Webサーバやメールサーバ等のサーバプログラムをインストールし運用を開始した。およそ1年にわたる運用で特に問題なく運用することができた。

●事務局所有IT機器の管理運用

(PC関連設備、光ファイバー設備、LAN設備など)事務所移転にあわせ、光ファイバー回線が導入され、設置立会いおよび通信確認等行なった。また、事務局・事務所PCの通信インフラとしての設定およびサポートを行なった。

●コミュニケーションインフラの構築運用と普及推進

技師会専用サーバを活用し、Webおよびメール・メーリングリスト環境を導入した。

- ・技師会HPのリニューアル
- ・技師会メール環境の整備
- ・各種メーリングリストの立ち上げ
- ・技師会メールニュースの配信開始

●会員データベースの再構築

十分な作業を行うことができなかった。次年度への継続としたい。

●出版事業委員会●

すいせん第85号、第86号、第87号、第88号と(社)福井県放射線技師会会誌第26号を発行した。すいせんは紙の色がベージュであったが一期二年ごとにわかるように色を変え青色とし、閉じ孔をあけた。第25号までは(社)福井県放射線技師会雑誌であったが理事会にはかり(社)福井県放射線技師会会誌と名称を変更した。

報告

(社)福井県放射線技師会法人化25周年記念事業を終えて

実行委員長 池野 徹

3月21日福井厚生年金会館（ウェルシティ福井）において、標記記念事業が挙行されました。この記念事業の実行委員長を引き受けることとなり、昨年8月より理事会等で事業内容を検討してきました。各担当の責任者としてご尽力いただいた理事の方々はじめ、実行委員の皆様方に厚くお礼申し上げます。また、当日事業にご参加いただき盛り上げていただいた会員および賛助会員の皆様にも感謝申し上げます。おかげをもちまして無事滞りなく終了することができました。

今回、一般の方々を対象にした公開講座では「乳がん」を取上げ、検診の重要性と啓蒙を主眼に4名の講師の方にご講演いただき、約150名が聴衆しました。翌日の福井新聞にもカラー写真とともに大きく取上げられました。また、今回初の試みとして3月15日夕方駅前に集合し、数十秒ではありましたがテレビ出演PRを行いました。

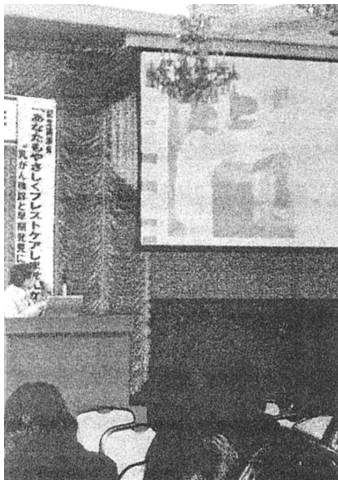
式典では、ご来賓として知事、福井市長、熊谷日放技会長はじめ、医療関連団体の方々をお迎えし、厳かに行われました。知事表彰を受賞されました清水勲、森幸子両会員におかれましては、本当におめでとうございます。

祝賀会では、114名（会員78名）の出席をいただき、ピアノとフルートの演奏の中楽しく歓談でき、あっという間に1時間30分が過ぎました。

今回の事業遂行にあたり感じたことは、若い会員のパワーの凄さに驚きました。このパワーを今後の技師会活動に生かしていければ良いなと思っております。

詳しくは会誌にてご報告させていただきます。

40代女性 乳がん注意を



県放射線技師会
福井で公開講座

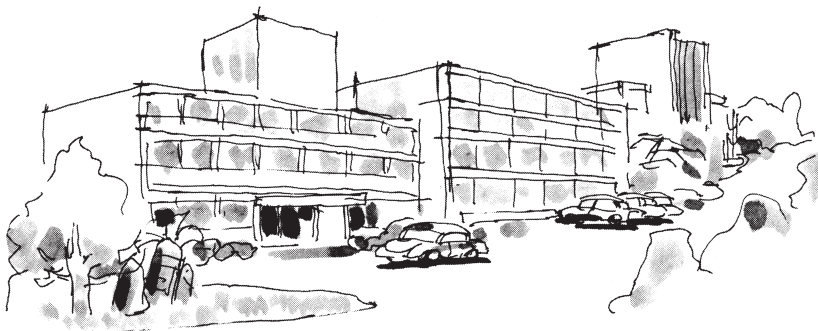
県放射線技師会は法人化二十五周年を記念し、二十一日、乳がんの実態や治療法などについて学ぶ公開講座「あなたもやさしくプレストケアしませんか」（福井新聞社後援）を

乳がんの早期発見の重要性を説いた公開講座＝21日、福井厚生年金会館



福井市の福井厚生年金会館で開いた。がんを深刻化させないために、マンモグラフィなど画像検診を受ける重要性を訴えた。県済生会病院の笠原善郎外科部長は「乳がんは女性が一番かかりやすいが、四十歳の死因の筆頭であり、若い世代に広がっている。しかし四人に三人は治る。早く見つけることが大事」と語った。続いて福井赤十字病院の田中文恵外科部長が、乳がんの診断方法や治療の現状について紹介した。県内の乳がん患者らでつくる「EMLの会」会長の野村典子さんは、自らの治療の苦しい体験を披露し「四十歳になったら必ずマンモグラフィの検査を受けて」と呼びかけた。約百五十人の参加者には、乳がんの早期発見・診断の重要性を訴える全世界共通のピンクリボンバッジが贈られた。県放射線技師会は県内各地の病院や検診施設で働く約三百人の技師で構成。この日は記念式典も行われ、眞柄義一会長は「高度化する医療体制の中で、さらに責任を持つて仕事に当たりたい」とあいさつした。

福井新聞 平成17年3月22日



(社) 福井県放射線技師会財産台帳 (図書・ビデオ)

品名	著者	概要
明日への旅立ち	中村實著	
今日の課題	中村實著	
対話と人間	日本放射線技師会編	
放射線技師の挑戦	日本放射線技師会編	
赤灯の下	松陽子著	
C Tシステム入門	日本放射線技師会編	
労働衛生一般関係法令	日本作業環境測定協会	
骨格X線解剖学	中村實監訳	
医療放射線管理のための様式集	日本放射線技師会編	
医療用放射線の安全取扱	石坂正綱著	
NMRの理論と臨床	日本放射線技師会編	
沈黙の医療戦士	日本医療技術団体協会	
35年誌	日本放射線技師会編	
姿勢、展望	中村實著	
日本人の生活と放射線	菅原努著	
放射線技師のパーシエントケア	日本放射線技師会編	
患者さんへの思いやり	日本放射線技師会編	
放射線技術臨床実習の手引	小島迪子・小笠原哲著	
実践英会話	日本放射線技師会編	
医療に心を	日本放射線技師会編	
提言 (放射線技師の21世紀への布石)	日本放射線技師会編	
研修100回記念誌	福井県総合画像研究会	
チーム医療と放射線技師	日本放射線技師会編	
35周年記念誌	石川県放射線技師会	著者寄贈
35年のあゆみ	山梨県放射線技師会	著者寄贈
40年のあゆみ	東京都放射線技師会	著者寄贈
リーダーとしての私の考え	東京都放射線技師会	著者寄贈
明日への響	東京都放射線技師会	著者寄贈
21世紀の胎動	中村實著	
生涯教育テキスト1-6	日本放射線技師会編	
臨床実習指導者としての自覚	日本放射線技師会編	
新しい「医業税制」	医業税制研究会	
右能クラシック鑑賞法	品川嘉也	
医療に貢献する放射線技師	V 日本放射線技師会	
胃X線検査(1)	V 日本放射線技師会	
プライマリ・ケアにおける頭脳CTの読み方 a-c		(K) エーザイ寄贈
放射線技師のインフォームドコンセント a, c		(K) エーザイ寄贈
C T検査を受けられる方へ		(K) エーザイ寄贈
M R I 検査を受けられる方へ		(K) エーザイ寄贈
画像診断と造影剤		(K) エーザイ寄贈
明日に刻む対話	中村實著	
平成の大学	中村實著	
M R I 検査を受けられる患者さんへ	V 日本放射線技師会	
医用放射線計測学	中村實監修	金森勇雄氏寄贈
50周年記念誌	群馬県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	茨城県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	東京都放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	山形県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	北海道放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	大阪府放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	兵庫県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	山梨県放射線技師会	著者寄贈

50周年記念誌	福岡県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	宮城県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	宮崎県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	山口県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	長野県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	京都府放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	富山県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	三重県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	栃木県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	静岡県放射線技師会	著者寄贈
健康政策六法（平成14年度版）	医療法制研究会	日放技寄贈
医療法人のための税務調査対策	中央経済社	著者寄贈
公益法人の税務	公益法人協会	購入
放射線安全管理の手引き	日本放射線技師会編	

(社) 福井県放射線技師会財産台帳（備品）

取得年月日	品名	概要
1974	印箱	購入
1975	ナンバーリングスタンプ	購入
1978	レターケース	購入
1979	会旗	山本信次郎氏寄贈
1981	プロジェクター	大橋基氏寄贈
1982	映写用スクリーン	橋本剛氏寄贈
1984	レントゲン博士ブロンズ像	㈱コニカメディカル寄贈
1985	スライドホルダー	中村昭満氏寄贈
1988	救急箱	購入
"	NECワープロ（文豪3V2）	土谷重男氏寄贈
1990	コピー機（CANON FC1/2）	中村昭満氏寄贈
1993	野球ユニホーム一式	山本稔氏寄贈
"	書籍箱	中村昭満氏寄贈
1995	会旗一式	山本信次郎氏寄贈
1998	NECパソコン バリュースターNXVS20C	山本稔・岡田時治氏寄贈
1999	サーベイメーター（電離箱式）	購入
2000	Panasonic FAX付電話 KX-PW16CL	大西信蔵氏寄贈
"	NEC ISDNターミナルアダプター Atem IT20D	大西信蔵氏寄贈
"	EPSON レーザープリンター LP-8300	伊藤医療器株式会社殿寄贈
"	事務用品机	伊藤医療器株式会社殿寄贈
2001	クーラーBOX	購入
2003	パソコン SOTEC	眞柄義一氏寄贈
"	パソコンラック	眞柄義一氏寄贈
2004	ルーター オムロン	新事務局寄附金より購入
"	電話 バイオニアTF-FS12	新事務局寄附金より購入
"	テレビデオ オリオン	新事務局寄附金より購入
"	コピー機 Canon	新事務局寄附金より購入
"	輪転機 Canon	新事務局寄附金より購入
"	会議用椅子15 事務用1	新事務局寄附金より購入
"	会議用机8	新事務局寄附金より購入
"	ファンヒーター ダイニチ	新事務局寄附金より購入
"	冷蔵庫 シャープ	新事務局寄附金より購入
"	石刻 中国「寒山捨得像」	関西放射線機器 高見宗助氏寄贈
"	三人掛ソファー	斎藤綱英氏寄贈
"	応接用小テーブル	眞柄義一氏寄贈